杉山司が令和2年第4回定例会で行った総括質疑の内容（表面のつづき）

個々にあった教育を受けさせよ

ギフテッド・チルドレンという言葉を聞いたことはありますか？区内在住でギフテッド・チルドレン関連の著書を出されている酒井由紀子さんはギフテッド・チルドレンのことを「才能はみだしっ子」と命名している。また区民の方からも、我が子の不登校の原因は、お子さんがギフテッド・チルドレンの可能性があることで**小学校の教育に違和感を感じていた**、との相談を受けた。

渋谷区では2017年9月、「いわゆるギフテッドなどの特別な才能を有する子どもたちに合わせた新しい教育プログラム、発達障害と優れた才能を併せもち、学校で二重に特別な教育ニーズのある子どもたちを2E教育する」と宣言し、それを始めている。中野区内にも、勉強し辛い環境が耐えられないというギフテッド・チルドレンが少なからずいるという事実。ギフテッドを含み**間違いなく存在する生き辛さを抱えている児童や生徒に対し、これからどのように寄り添い、才能を伸ばしていけるかを検討すべきと考えるが。**

【区の答弁】一人ひとりの子どもの特性や教育的ニーズを把握し、その可能性を最大限に伸ばせるよう、きめ細かな支援をする。ひとり1台端末などを活用した、ひとりひとり状況に応じた学びのあり方を研究するほか、ギフテッド・チルドレンについて精力的に取り組んでいる団体や自治体の情報を収集する。

福祉政策も兼ねた空き店舗政策を

私たちがいち早く提言した「コロナに負けるな！なかのワクワク商品券」も実現され、区は様々な切り口で経済対策を行っているが、このコロナ禍で生まれてしまった空き店舗対策も視野に入れた施策・政策を生み出していく必要がある。

商店街の活性化や区内経済の発展には**シャッター店舗に灯をともすことが必要**であり、そのスタート地点として店舗化の推進を視野に入れた施策を考えなければならない。元店舗を店舗化することで、お店として借りる対象が増える、店舗を利用するために元気な若者が商店街に入る、商店街も活気づくなどの経済効果のほか、年金暮らしだった高齢夫婦が貸主となって収入を得られる、借りている人が住んでいる高齢者の見守りもできる可能性もある、など色んなメリットが生まれてくるはず。**高齢者福祉の観点からも、中野区のアウトリーチチームと産業振興担当と協力して、店舗化データベースの作成をすべきでは。助成金の話、貸し出し後の生活の話、貸し出し手法のアドバイスなどをしてあげることが大切と思うがいかがか。**

【区の答弁】データベース化することは困難だが、家主へのアドバイスや相談に応じるなどの支援は前向きに検討を進める。

ほとんどの商店街は高齢化が進んでいるので、**高齢者福祉施策と空き店舗対策**を含めた商店街活性施策はセットで考えるべき。産業活性化も加速され、税収も増え、扶助費も削減できる三方良しの施策、前向きに検討を進めて頂きたい。また**ひとつの商店街をモデルケースとして、苦戦している特定の商店街を選び、実証実験的に活性化推進を行うべきだが。**

【区の答弁】実現の可能性について中野区商店街連合会と協議を行い検討する。

ICTCOは区政課題解決に尽力せよ

中野区産業振興推進機構（ICTCO）と区で昨年8月に締結した協定書に追記された「区政課題の解決に取り組む」ことについて、しっかりと取り組ませているか。**区内産業をICTで下支えしていくのが本来の姿であると考えるが進捗はいかがか。**

【区の答弁】同機構との相乗効果によって区内産業の活性化を促進し、更なる中野区の産業発展のためになるよう進める。

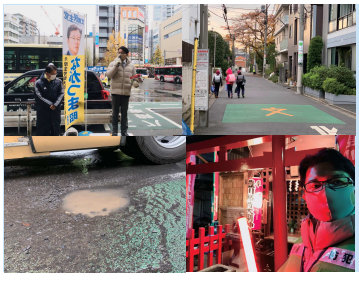
同拠点を利用しているベンチャー企業会員のほとんどが立地がいい、安い、便利などを施設利用の理由に挙げているが、これからはしっかりと会員の方々に区政課題に取り組んで頂かなければならない。会員になるときの前提条件に、区の課題解決のために月1回程度、区主催のミーティングに参加すること、などと追記し、**区へのコンサルやアイデアをもらえる流れや環境を作るべきと考えるがいかがか。**

【区の答弁】ICT教育、商店街キャッシュレス化など様々な課題について説明し、その解決につながるよう区と同機構の連携をより強化する。個々の会員企業の区政課題における支援なども強く求める。

立憲民主党・杉山司としての政治理念や政策、地域への取り組みなど

令和2年11月27日の第4回定例会での一般質問の様子

※中野区への主な要望内容
- ◎新型コロナ感染拡大防止対策
- ◎保健所関連の体制強化や支援
- ◎コロナ用ワクチン接種の準備
- ●桃丘小跡地施設に防災拠点
- ●文化・芸術振興への支援
- ●商店街への経済支援策推進
- ●魅力ある公園への整備　など。



※地域の取り組み「あれこれ」
- ●桃園町会で毎週金曜夜に夜警
- ●金曜の朝は中野駅南口で駅頭
- ●歩道等のチェックと修繕推進
- ●週明けの朝は地域の見守り
- ●中野駅周辺開発の要望まとめ
- ●東中野駅西口桜並木の保護
- ●「中野経済新聞」の発行　など。

立憲民主党・無所属議員団は中野区と共に、以下の新型コロナウイルス感染症対策や様々な支援を牽引中！

【子育て家庭への支援】
- ・子育て世帯、妊婦、ひとり親世帯、障がい手当受給者への給付
- ・在宅医療的ケア児へのアルコール綿などを無料配布
- ・令和2年4月28日～3年4月1日生まれの新生児に給付

【保育園・幼稚園・施設・学校への支援】
- ・自宅オンライン学習向けタブレットなどの貸し出し
- ・学校や福祉施設、園へのマスクや消毒液など感染対策費用の補助
- ・学校内のIT機器や構内ネットワーク環境などの予算増額

【医療機関への支援】
- ・PCR検査センターの開設
- ・PCR医療機関への支援金、診療所への準備金支給
- ・高齢者を無料としたインフルエンザ予防接種

会派と区長の意見交換会の様子

【定額給付金や住宅・事業・生活などの支援】
- ・感染し休業された人への傷病手当金支給、自宅療養セット配布
- ・生活困窮者住居確保給付金の支給、無利子融資（上限有り）
- ・30%プレミアム付き「コロナに負けるな・わくわく商品券」発行　など。